

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		幼稚園施設管理用務業務委託				所管	教育委員会 庶務課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則			
	事業対象	幼稚園11園						
	事業目的	用務職員の退職不補充に伴い、用務業務を含む施設管理業務を民間に委託することで、施設の円滑な維持管理を行う						
	事業内容	用務業務及び定期清掃 定期清掃…貯水槽清掃、プール清掃、窓ガラス清掃、カーペット清掃、床ワックス塗布、換気扇・扇風機清掃、吸気口清掃、エアコンフィルター清掃、巡回清掃など						
委託の有無	全部委託		委託内容	用務業務委託、定期清掃業務委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	委託実施園数 園		10	11	11	11	
	成果指標							
	決算額 (単位：千円)				38,317	35,045	35,218	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			1,800	1,250	1,180	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			38,317	35,045	35,219	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			0	0	0	
		総経費			40,117	36,295	36,399	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0	
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0			
一般財源（区負担額）			40,117	36,295	36,399			
前年度から改善した事項		用務の業務対応状況を幼稚園での確に把握し、必要に応じ業者指導を適切に行っている。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	用務職員の退職不補充にあわせ、順次、民間委託を図っていく必要がある。					
	効率性	3	用務業務と定期清掃業務を一体で民間委託したことにより、経費節減が図られている。					
	手段の適切性	3	区の用務職員の定年退職に合わせ、効率的に委託化を推進している。委託契約の方法について、現行の競争入札とプロポーザル方式を比較検討するが、本事業開始から10年経過し業者の質も向上してきており、コスト削減と合わせ手段は適切に行われている。					
	目的達成度	4	施設の環境美化が良好に図られている。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
用務職員の退職にあわせ、民間委託を図り、現在では全園導入済みである。人件費の抑制を図るとともに、用務業務委託の実績も定着しつつあり、幼稚園、PTA等からの評価も高く、維持とする。							維持	